



## 三角形の傍心の位置ベクトル

三角形あれば、その各頂点に対して、傍心<sup>1</sup>が定まる。よって、三角形の3頂点の位置ベクトルを用いて、傍心の位置ベクトルを表すことができる。本稿では、加重重心の結果<sup>2</sup>を用いて、傍心の位置ベクトルの美しい表示を与える。以下では、 $\sin \angle A$ のことを $\sin A$ と表し、 $\triangle ABC$ の面積もまた、 $\triangle ABC$ で表す。

**命題.** 3点  $A(\vec{a}), B(\vec{b}), C(\vec{c})$  を頂点とする  $\triangle ABC$  の頂角  $A, B, C$  内の傍心をそれぞれ、 $I_A(\vec{i}_A), I_B(\vec{i}_B), I_C(\vec{i}_C)$  とする。また、辺  $BC, CA, AB$  の長さをそれぞれ、 $a, b, c$  とする。このとき、

$$\vec{i}_A = \frac{-(\sin A)\vec{a} + (\sin B)\vec{b} + (\sin C)\vec{c}}{-\sin A + \sin B + \sin C} = \frac{-a\vec{a} + b\vec{b} + c\vec{c}}{-a + b + c} \quad (1)$$

$$\vec{i}_B = \frac{(\sin A)\vec{a} - (\sin B)\vec{b} + (\sin C)\vec{c}}{\sin A - \sin B + \sin C} = \frac{a\vec{a} - b\vec{b} + c\vec{c}}{a - b + c} \quad (2)$$

$$\vec{i}_C = \frac{(\sin A)\vec{a} + (\sin B)\vec{b} - (\sin C)\vec{c}}{\sin A + \sin B - \sin C} = \frac{a\vec{a} + b\vec{b} - c\vec{c}}{a + b - c} \quad (3)$$

が成り立つ。

**証明.** どれも同じなので、頂角  $A$  内の傍心  $I_A$  に対する主張 (1) だけ示す。

傍心  $I_A$  は、三角形の外部の右図のような位置に存在する。 $\triangle BI_A C, \triangle CI_A A, \triangle AI_A B$  の面積比を  $\alpha : \beta : \gamma$  とすると、加重重心の結果から、傍心  $I_A$  の位置ベクトルは、

$$\vec{i}_A = \frac{-\alpha\vec{a} + \beta\vec{b} + \gamma\vec{c}}{-\alpha + \beta + \gamma}$$

と表せる。辺  $BC, CA, AB$  の長さをそれぞれ、 $a, b, c$  とし、傍接円、外接円の半径をそれぞれ、 $r_A, R$  とすると、

$$\triangle BI_A C = \frac{r_A^2 a}{2} = r_A^2 R \sin A$$

が成り立つ。(2つ目の等号は正弦定理を用いた。) 他の小三角形に関しても同様に考えることで、

$$\alpha : \beta : \gamma = \frac{r_A^2 a}{2} : \frac{r_A^2 b}{2} : \frac{r_A^2 c}{2} = a : b : c = \sin A : \sin B : \sin C$$

が従う。 □

<sup>1</sup>傍心  $I_A, I_B, I_C$  と傍接円 :

$\triangle ABC$  に対して、 $\angle A$  の内角の二等分線と、 $\angle B, \angle C$  の外角の二等分線の交点を頂角  $A$  内の傍心という。頂角  $A$  内の傍心は、辺  $BC$  と、辺  $CA, AB$  の延長線から等距離にあることが知られている。この性質から、頂角  $A$  内の傍心を中心として、辺  $BC$  と、辺  $CA, AB$  の延長線に接する円が描ける。この円を(頂角  $A$  内の傍心を中心とする)傍接円という。同様にして、頂角  $B, C$  内の傍心が定まり、それらを中心とする傍接円が定まる。このようにして、1つの三角形に対して、3つの傍心と、3つの傍接円が定まる。

<sup>2</sup>加重重心の拡張 <https://gleamath.com/weighted-center02/>

